



# 我ら岬中

= 教育目標 =

自他を大切に作る心と態度を養い  
自己有用感をもてる生徒の育成

- ・人権尊重の視点に立った学校づくり
- ・「誰かの役に立てた」という集団の一員としての自信の獲得

いすみ市岬町椎木 1370

	男	女	合計
1年	43	45	88
2年	57	47	104
3年	59	43	102
合計	159	135	294

## コロナ禍でも希望を力に未来へ!

新型コロナウイルス感染症が、再び感染拡大の様相を見せています。そんな状況の中で始まった新しい一年。しかし、コロナ禍であっても、新しい日々への期待は、いつもと同じです。一人一人の希望を力に、荒波を乗り越えながら、岬中学校は、未来へ進んでいきます。

## 令和3年度入学式を挙行了しました



4月7日、本校体育館において、令和3年度入学式を挙行了しました。

今年度の入学生は88名。大きめの制服に身を包み、緊張した面持ちで入場してくる様子はとても初々しく、新しい一年が始まるにふさわしい新鮮な風を、この岬中学校に運んで来てくれました。

在校生代表の さん(3A)の、「中学校の3年間はあっという間です。多くのことを経験し、実りある楽しい3年間にしましょう。これから新たな岬中学校と一緒に築いていきましょう。」という歓迎の言葉に、新入生代表の

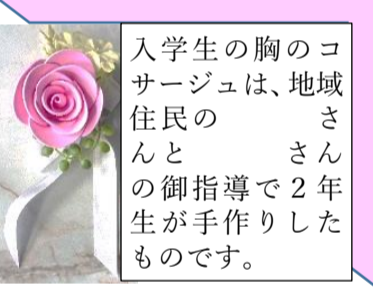
さん(1B)は、「新しい生活を共に創る同級生と出会い、我慢ばかりしていた昨年度の分も中学校生活を楽しまうという気持ちが芽生えてきました。中学校では、どんな時もあきらめずに挑戦し、仲間と切磋琢磨しながら学び合っていきます。」と、誓いました。

入学式の準備は、新2・3年生の力によって進められました。会場準備は3年生、教室や校舎周辺は主に2年生が担当しました。卒業式の準備と片付けを経験しているため、みんなで協力して手際よく進め、約2時間ほどで終了しました。

## 入学生を温かく迎えるために



自分たちがしてもらったことを、今度は自分たちがしてあげよう。こうして「誰かの役に立つ経験」が紡がれていきます。



入学生の胸のコサージュは、地域住民のさんとさんの御指導で2年生が手作りしたものです。



## 新入生歓迎会は感染防止対策を工夫して



昨年は臨時休業により実施できなかった新入生歓迎会ですが、今年度は感染防止の対策を図った上で行いました。密を防ぐために、会場の体育館には1年生と生徒会役員のみ集合。学校生活の様子は、事前録画したものを視聴しました。また、部活動紹介は、発表する部が交代で体育館に入場し、活動の様子を紹介しました(写真上)。会の様子はライブ中継し、2・3年生は校舎で視聴しました(下)。2・3年生は、様々なアイデアを凝らした出し物を披露してくれました。新入生の皆さんが『岬中はなんだか楽しそうだな』、そう思ってくれたら、この会は大成功です。

さん(1C)「説明が分かりやすく、委員会や部活動の活動内容が頭にしっかりと入ってきました。2・3年生はこの日のためにたくさん練習したと思います。2・3年生の思いを受け取り、2年生になったら私たちが1年生に思いをつなげます。」

## 新型コロナウイルス感染防止のポイント

- ◇マスクの着用
- ◇石鹸での手洗い
- ◇わずかな発熱でも医療機関へ

学校医の木元博史先生といすみ医療センター感染制御アドバイザーの平井愛山先生のお話を伺いました。これまでの夷隅地域での知見から、両先生が最大の感染源として指摘したのは『だ液』。「だ液に接触する機会をいかに無くすか」の視点で感染防止対策をとることが重要であり、お互いがマスクをきちんと着用すること、石鹸での手洗いをしっかりと行うことがとても大切とのアドバイスをいただきました。

また、感染の拡大を防ぐには、早期に感染者を見つけることが重要で、そのため平熱より体温が高い状況であれば速やかに医療機関に相談することが求められるとのこと。マスクの着用、石鹸での手洗いの徹底、微熱でも医療機関に相談することに、御協力をお願いします。

## 新しい職員を紹介します



① 名前 ② 出身 ③ 趣味・特技 ④ 尊敬する人物 ⑤ 知っておきたいこと ⑥ 私の自己紹介

A	① 主査 ② いすみ市 ③ ティー・ニラット・シーで遊ぶこと ④ 母 ⑤ 猫とカレーが好き ⑥ 健康なこと
B	① 講師 ② 大多喜町 ③ パン作り ④ 母 ⑤ 柔道だけじゃなくスキーもできる ⑥ 体力自慢
C	① 教諭 ② 千葉市 ③ 熱帯魚を飼うこと。マウソバウ ④ 父親 ⑤ 車と鉄道が好き ⑥ 愛車
D	① 教諭 ② 旧岬町 ③ 編み物 ④ お母さん ⑤ 餃子と7-モト*が食べられません ⑥ 母校に勤めるのが3回目
E	① 養護教諭 ② いすみ市 ③ 便利グッズの購入 ④ 極め人 ⑤ いちごが大好き。でもいちご狩りは苦手 ⑥ 数年前に犬嫌いを克服したこと
F	① 教諭 ② 市川市行徳 ③ ラーメン屋と本屋探し ④ 小学生の時のサッカーチームのコーチ ⑤ いつでも話しかけてください ⑥ あきらめが悪く徹底的にやる
G	① 講師 ② 千葉県 ③ 弓道 ④ 本多忠勝 ⑤ カメラ撮影時によく連写をします ⑥ 丸鶏を使って参鶏湯を作ったことがある
H	① 支援員 ② 大原 ③ コストコに行くこと ④ 浜中俊(すぐる) ⑤ 自称チャーハン評論家(美味しいチャーハン店があれば是非教えて下さい) ⑥ 新垣結衣と握手したことがある。フィジカルランナー資格を持っている。

## 『揺れたら逃げる!より遠くへより高台へ』津波対応避難訓練を実施



災害はいつやってくるかわかりません。できるだけ早いうちに実施しておくことが大切と考え、4月20日に津波対応の避難訓練を実施しました(写真左上)。また、訓練後は、防災啓発用DVD『釜石の奇跡』を視聴しました。

本校は、海岸から約4キロ離れていますが、標高も低く川にも近いので、津波の襲来が十分予想されます。当日は危機意識を高くもつことと、東日本大震災で犠牲となった方々の悲しみについて考え取り組むことの大切さを生徒に伝えました。

なお、津波警報発令時の避難の流れは次のとおりです。

①地震発生	一次避難(机にもぐる等の安全の確保)
②揺れが収束	二次避難(駐車場に避難)、点呼
③津波警報発令	職員が自転車で先発し道路状況を確認。生徒は速やかに津波緊急避難場所(ツルヤ製置さん倉庫)へ避難開始
④避難路通行不能の場合	先発職員が避難路の通行不能を確認した場合は、避難先を般若寺に変更

先日、各御家庭にいすみ市教育委員会作成の『地震・津波対応ガイドライン』(写真右上)を配付しましたので、ご確認ください。

- さん(1A)「静かに移動し、黙って先生の指示を聞きました。避難訓練の大切さがわかりました。今日、覚えたことを忘れないようにしたいです。」
- さん(1B)「避難場所への行き方が分かった。海抜や周りの環境を見ながら避難した。訓練ではだいたいできたので、もし、本当に起こってしまった時にもできるようにしたい。」

